

2020年10月16日供用開始

# 睦ヶ丸避難小屋

Azegamaru Hinan-goya

## 山岳公衆便所 仕組みと 利用のルール

感染症の予防  
対策をお願いします。



密閉回避

密接回避

密集回避

換気

咳エチケット

睦ヶ丸避難小屋は、山岳公衆便所を併設しています。上下水道も電気もない山岳地のため、汚水の処理は、土壌の自然浄化力を活かした、無放流の土壌処理システムを採用しています。そのため、その利用については、いくつかのルールがあります。汚水処理の仕組みと利用のルールについて、つぎにまとめましたので、ご確認ください。みなさんの節度ある利用を、どうぞよろしくお願いいたします。

### 土壌処理方式の仕組みの概要

**1. 前処理装置**

現在地 You Are Here.

点検掃除口

ろ材充填(多孔質材)

①汚水は、消化室で浮上物、沈殿汚泥、上澄水に固液分離されます。

②固液分離された上澄水は、ろ過室に移流し、充填したろ材の表面に形成している生物膜により、微細な浮遊物が吸着除去され、浮遊物の極めて少ない上澄水になります。

汚水はこの後、システムの核心部である土壌処理装置へ流入していきます。

2. 土壌処理装置へ

沈殿汚泥

上澄水

第1消化室 第2消化室 ろ過室

前処理装置



睦ヶ丸避難小屋併設  
山岳公衆便所

**2. 土壌処理装置**

土壌処理装置

土壌処理装置は、通気性土壌、浸潤散水処理資材、集水チューブ、不透水シートBOXで構成されます。

③汚水の浄化と、自然界への還元を行う、このシステムの核心部です。流入した汚水は、土壌のろ過機能と好気性菌により浄化され、土壌処理装置を構成する不透水シートと、毛細管現象により、重力浸透することなく、土壌表面より蒸発していきます。

④処理水の中で、土壌処理装置の中にある集水管に集水された水は貯留槽に貯留され、土壌処理装置の運用状態を判断する目安となります。

第1消化室 第2消化室 ろ過室

貯留槽

トイレ

### 睦ヶ丸避難小屋山岳公衆便所 利用のルール

**×** 使用した紙、生理用品、食材等

**大便・小便以外の異物 便器の中へ投入厳禁!**

□ 便器の中には、**使用した紙を含め、小便・大便以外の物は絶対入れない。**  
→いつもの習慣でつい、便器の入れてしまう事があると思います。ご注意ください!  
万が一、入れてしまった場合は、水に流さず、備え付けトングで拾い、持ち帰りください。  
自分の汚れは自分で処理!ご協力をよろしくお願いいたします。

□ **使用した紙は、自分で持ち帰ってください。**

異物で多いもの  
・トイレットペーパーや生理用品等の紙類  
・レジ袋等のプラスチック類  
・その他不明なもの

これら人工物を投げ入れると、自然の浄化力を活かした土壌処理装置は機能不全に陥り、正常な処理が出来なくなります。

□ **自分の汚れは自分できれいに。**

□ **使用後は足踏みポンプを1~2回、やさしく踏んでください。**

自分の汚れは自分できれいに!  
使用した紙は持ち帰って!

水洗用の足踏みポンプは1~2回程度やさしく踏んでください。

大便・小便以外の人工物等は入れないで!